

# 令和6年度第1回牛久市健康づくり推進協議会 議事概要

日時：令和6年11月7日（木）午後1時30分～午後3時10分

場所：牛久市保健センター研修室

出席者：委員：21名中19名出席

委員名	出欠	委員名	出欠	委員名	出欠
泉 憲治	出	河村 智教	出	宮本 克樹	出
山崎 陽介	出	谷田部 英樹	出	関島 紀子	出
橋場 成忠	出	井出 文彦	出	橋本 庄司	出
旭 郁	出	吉田 敏子	出	荒川 隆人	出
永山 静子	出	石田久美子(代理)	出	川村 始子	出
岩井 浩一	出	山波 真理	出	渡部 功	欠
望月 諭	欠	大沢 杏美	出	木本 雪佳	出

事務局：保健福祉部次長 宮本史朗 健康づくり推進課長 野口信子

健康づくり推進課職員 飯泉麻由美・野口ちひろ・須藤政子・森まどか・尾澤俊  
医療年金課職員 多田明紗美

## 協議会内容：

1. 委嘱状交付
2. 市長あいさつ
3. 委員自己紹介
4. 職員紹介
5. 委員長等選出（委員長：岩井浩一委員 副委員長：宮本克樹委員、永山静子委員）
6. 議事録署名人の指名（河村智教委員、山崎陽介委員）
7. 議事（議長：岩井浩一委員長）

### （1）報告事項

- ①牛久市の概況について
- ②牛久市国民健康保険の医療及び健診の状況について
- ③健康づくり関連事業状況調査および事業実績報告
- ④うしく食育推進計画の取組について
- ⑤その他

## 委員からのご意見

### ①牛久市の概況について

- ・主な死因別死亡割合について、「その他」の割合が大きい要因は如何？  
→詳細は不明であるが、背景に死因の多様化があると考えられる。（事務局）
- ・死因としての悪性新生物の割合が減少していることについて、市のがん検診受診率は増加していないため、統計上関連がなさそうとのことであるが、がん検診を受けずとも、通常の診察でがんが発見される可能性も考えられる。

### ②牛久市国民健康保険の医療及び健診の状況について

- ・高血圧の医療費の減少要因として非常に効果的な薬の登場や、一部の著名な学識者による“高血圧の心配は不要である”との発言に影響された視聴者が自己判断で受診を控えていることが考えられる。
- ・本当に治療が必要な人が受診しているかを知るために、特定健診に関して、高血圧の要医療や要指導の人数の推移、およびそれらの方々が実際に受診しているかどうかの受療率の推移を教えてください。  
→それらの推移について調査したうえで、次回の協議会にてご報告する。（事務局）

- ・糖尿病に関しては、あまり改善がみられないため、引き続き注視が必要である。

### ③健康づくり関連事業状況調査および事業実績報告について

- ・高齢者の食生活の乱れに問題意識があり、炭水化物中心の食生活を送る一部の高齢者のために、タンパク質摂取を奨励しているが、車がないために自由に買い物に行けないという事情があるため、食生活の改善計画が必要とされている。  
→市では、例えば、医療年金課の介護予防グループでは、体操の場に訪問してフレイル予防の講話を行い、食生活改善推進員と協力して地域で高血圧予防や食品に関する講話を実施している。まだ十分に行き届いていない高齢者への対応について、今後検討したい。(事務局)
- ・コロナの影響で食生活改善推進員の活動は制限されたと察するが、現在はどのような活動をされているか。  
→最近調理実習が可能となり、9月からシニア料理クラブが料理教室を始めている。減塩講座では、高齢者向けにタンパク質不足への啓発を含めた改善をしていきたい。(委員)
- ・中年成人の食生活の乱れがみられるため、中年成人向けの食育活動があると有効であると考え。
- ・緑内障が多いとのことであるが、緑内障や白内障の予防策として児童や学生の時からできることはあるか。  
→日差し(紫外線)を遮るためにサングラスの着用が重要である。(委員)
- ・牛久市の歯周病検診受診率が低迷しているという報告があったが、後期高齢者を助成の対象とすれば、歯周病検診の受診率は上げることができると考える。
- ・現行プランには薬剤師が主体の事業がない。ポリファーマシー問題など薬剤師が主体で行う活動を次期プランに掲載することを願う。  
→例えば、お薬手帳の普及に関して目標を立てるとするのは如何。(委員)  
→薬剤師が薬局でお薬手帳を使って患者の相談対応をする場合、複数の医療機関から処方された薬をすべて把握するのは難しく、時間も限られている。薬剤師は戸別訪問をして時間をかけて相談対応することができるため、市職員が戸別訪問を行う際に薬剤師を同行させる形で薬剤師会としてご協力できればと考える。(委員)
- ・保健センターで行うこどもの健診を午前中に開催することや、健診会場を子育てひろばにすることは可能か。また、成長したこどもを持つ母親が抱える悩みや孤立感が多いことから、反抗期に入ったこどもを持つ母親を対象とした講習会を市で開催することを検討願いたい。  
→いただいた要望を検討し改善していきたい。こどもの健診時間に関しては市内の医療機関が診療の合間に協力していただいているのが現状であるため、調整は難しく、ご理解いただきたい。(事務局)

### ④うしく食育推進計画の取組について

- ・食生活改善推進員として中年層向けの啓発活動の時間や場所の設定に難しさを感じていたが、学校のPTA総会の場で話す機会を得たことで一歩前進した。今後も中年層に向けて食育の話をする機会があれば積極的に参加していきたい。また、来年に10周年を迎えるUSHIKU野菜オーケストラについては、更なる活用方法に協力できるよう検討していく。

### ⑤その他 特になし。

## 8. 閉会